

PHILIPS

Healthcare

～Simplify physiology, optimize PCI～

2024 Philips Live! シリーズ

Physiologyの進化, PCIの真価：最新エビデンスより探る！

昨年ご好評いただいたPhilips Live! が4回シリーズで今年も戻ってきます！iFR/FFRを中心とした最新トピックスをはじめ、様々な臨床試験の深堀解説やディスカッション等をお届けする予定です。各Episodeでテーマを置き、1回完結でご視聴いただけます。

Episode 1 : **Made in JAPAN, 日本の最新Physiology研究**

日付：2024年 **4月 23日**（火） **19:00～20:00**

会場：Web開催（下記お申し込み方法により事前視聴予約をお願いします）

座長：**辻田 賢一** 先生（熊本大学病院）

演者：**藏満 昭一** 先生（札幌心臓血管クリニック）

「日本から世界へ！Japanese Registry から得た教訓」

演者：**山田 慎一郎** 先生（北播磨総合医療センター）

「CCS患者に対してのiFRガイドPCIによる長期予後改善への期待」

お申し込み方法：下記URLまたは右のQRコードより申込みサイトにアクセスいただき、事前にご視聴予約をお願いいたします。

→<https://philips.to/2024-philips-live-ep-1>



座長・演者よりメッセージ



座長：辻田 賢一 先生（熊本大学病院）

日本発信の最新Physiology関連研究について、研究を行われた先生よりご紹介いただく予定です。新たな発見や日々の臨床のヒントとなる内容もあるかと期待しております。多数のご参加をお待ちしております。



演者：藏満 昭一 先生（札幌心臓血管クリニック）

RCTやMeta-analysisはエビデンスレベルが最も高く、これらの結果は臨床現場でも重要視されています。しかし、RCTやMeta-analysisが完璧かという点必ずしもそうではなく、臨床現場での未解決な問題は必ず存在します。そのギャップを埋める方法の1つはレジストリー研究であり、私達はcoronary physiologyに関する様々な臨床疑問を解決するために多施設レジストリー研究を企画実行しています。今回は日本の実臨床を反映した多施設レジストリー研究であるJ-CONFIRM registryとJ-PRIDE registryの主要結果をご紹介します。今後私達がcoronary physiologyで取り組むべき課題を一緒に考えていきたいと思っております。



演者：山田 慎一郎 先生（北播磨総合医療センター）

慢性心不全の最も重要な原疾患の一つに虚血性心疾患があげられます。しかしながら最近の複数の介入研究ではPCIを含めた血行再建での予後改善効果が十分に証明されていません。我々はiFRを指標にしたPCIが潜在的な心機能障害を改善させることを発表しました(Terashita D, Yamada S, et al. JCS annual meeting 2024)。今回のカンファレンスにおいてその詳細をお示しし、我々が期待している点について解説します。